

ケイハン
水田畦畔の**除草**は

ヨンハン[®]

(愛称)

カソロン 粒剤 4.5 におまかせ！

ヨンハンの 特長

冬期の粒剤散布で

- 翌年の雑草発生を抑えます。
- 田植え前・後の草刈り作業を省けます。
- 土壌吸着が良く斜面での流亡や崩壊が殆どありません。
- スギナにも高い効果！

使用 方法

- 12月～2月（冬期）に散布
- 均一散布がポイント！
- 粒剤スプレーヤーなどで均一に散布してください。



粒剤スプレーヤー（別売）

3kg1袋の処理面積

(10アール当り8kgまたは12kg処理の場合)

畦畔（道幅）	距離（長さ）	
	8kg/10a	12kg/10a
30cm →	1,250m	833m
50cm →	750m	500m
1m →	375m	250m
2m →	188m	125m



(処理日:12月6日 調査日:翌年4月18日 富山県)



(処理日:12月10日 調査日:翌年5月16日 福井県)



アグロ カネショウ株式会社

東京都港区赤坂4-2-19

カンロン 粒剤 4.5

農林水産省登録 第14113号
成分：DBN……4.5%
毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

■適用雑草と使用方法

令和元年6月26日現在

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	DBNを含む農薬の総使用回数
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	スギナ	秋冬期～春期 (雑草発生前～発始期)	6～15kg/10a	1回	全面土壌散布	1回
		一年生雑草及び 多年生広葉雑草 (まめ科を除く)		6～12kg/10a			
水稲 (刈取跡)	水稲 刈取跡	一年生雑草	水稲刈取後 秋期雑草発生前～発始期	3kg/10a			
りんご	—	一年生雑草及び 多年生広葉雑草 (まめ科を除く)	秋冬期 (11～12月積雪前)	6～8kg/10a			
桑	—	一年生雑草	春期の雑草 発生前～発始期	7～8kg/10a			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	一年生雑草及び 多年生広葉雑草	雑草発生前～発始期	8～12kg/10a	3回 以内	植栽地を除く樹木等の 周辺地に全面土壌散布	3回 以内
		スギナ		8～15kg/10a			
いぐさ	—	一年生雑草及び マツバイ、ミスハコベ	3月上旬～4月上旬	3kg/10a	2回 以内	温水散布	2回 以内

⚠ 効果・薬害等の注意

- 雑草が大きくなると効果が劣るので、雑草の発生前から発始期に使用してください。
- 本剤はイネ科雑草に対しては効果が劣るので、イネ科雑草が優占する場所での使用はさけてください。
- 土壌が乾燥していると効果が不十分となるので雨上がり等の土が湿った状態で使用することが望ましいです。
- 本剤はまきむらによって効果が不均一となったり薬害を生じるおそれがあるので、特に均一散布に留意してください。
- 本剤は処理後地表面から薬剤が気化し、気象条件などにより滞留した場合、下枝の葉や果実に薬害を生じるおそれがあるので、風通しの悪い凹地など空気の滞留しやすい場所での使用はさけてください。
- 次のような場所では薬害のおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①極端な砂質土壌。
 - ②そ菜（かぼちゃ、うり類など）、花き（菊など）、ホップなどの栽培園に隣接している場所及びその栽培予定地。
 - ③新植後3年未満又は間作予定の果樹園、桑園。
 - ④ハウス、温室などの施設内及びその周辺並びにそれらの設置予定地。
 - ⑤移植後間もない樹木の周辺。
- 水稲(刈取跡)に使用する場合、特に以下のことに注意してください。
 - ①本剤散布後の圃場は翌春までそのまましておくのが最も効果的で、秋耕はしないでください。
 - ②翌春、水稲以外の作物を栽培する予定のある場合は使用しないでください。
- いぐさに使用する場合は、特に以下のことに注意してください。
 - ①対象水田の土壌は埴土～壤土とし、1日の縦浸透0.5cm以下の漏水の少ないところで使用してください。砂壤土や減水深の多い水田では使用しないでください。また散布後少なくとも1～2昼夜は水の流れを止め、その後も散布した時の温水状態を保つようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - ②既発生の雑草（特にコナギなどの広葉雑草）に対しては効果が不十分となるので雑草発生前～発始期に時期を失しないように散布してください。また雑草の発生がだらだらとなる

場合は3月上旬と4月上旬の2回処理してください。

- りんご、桑に使用する場合は、特に以下のことに注意してください。
 - ①本剤は年1回の使用とし、連年使用は行わないでください。
 - ②薬剤処理後、中耕すると薬害を生じるので土壌混和は行わないでください。
 - ③桑に使用する場合、葉にかかると薬害を生じるので春期桑の発芽前に使用してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意してください。
 - ①激しい降雨の予想される場合は使用をさけてください。
 - ②本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布してください。
 - ③水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
魚毒性…水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用はさけ、河川等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養魚田周辺での使用は特に注意してください。
- 保管…密封し、直射日光をさけ、種子、苗、肥料、他の農薬などと隔離し、食品と区別して、冷涼、乾燥した場所に保管してください。

●使用前にラベルをよく読む ●ラベルの記載以外には使用しない ●小児の手の届く所には置かない